



報道発表資料の配付日時 4月27日(火) 14時30分

発表項目 (行事名)	「医療従事者からの緊急メッセージ」について			
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	—	発表者	—
			発表場所	—
概要	<p>札幌市内の医療提供体制等を取り巻く様々な動向に鑑み、4月23日に、医療関係4団体と、知事及び札幌市長との意見交換会が開催され、この中では、次の6者の共同により札幌市内の厳しい医療提供体制の理解促進や、ゴールデンウィークに向け、道民や札幌市民の行動変容等を促す観点から、緊急メッセージを発信することとされ、別添「医療従事者等からの緊急メッセージ 一道民の皆様、札幌市民の皆様へのお願い」のとおり、発信するもの。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 参画6団体 <医療関係団体> 北海道医師会、札幌市医師会、北海道病院協会、北海道看護協会 <行政機関> 北海道、札幌市</p> <p>2 メッセージ 別添「医療従事者からの緊急メッセージ 一道民の皆様、札幌市民の皆様へのお願い」のとおり</p>			
参考				
報道(取材) に当たって のお願い	道民、札幌市民の皆様へ広く周知する必要があることから、積極的な広報をお願いします。			
他のクラブ との関係	同時配付	札幌市政記者クラブ		
担当 (連絡先)	保健福祉部感染症対策局感染症対策課調整担当課長 徳田 ダイヤル：011-206-0492 内線：38-921			

医療従事者からの緊急メッセージ

— 道民の皆様、札幌市民の皆様へのごお願い —

道内の新型コロナウイルス感染症の感染状況は、全国的な感染急拡大の中、札幌市を中心として、感染しやすいとされる変異株による感染が増加するなど、予断を許さない状況にあります。

こうした中、特に、札幌市内の医療提供体制は、極めて厳しい状況が続いており、例年、多くの医療機関が休診となるゴールデンウィークも控え、これ以上、医療機関の負担が増えることになると、通常の怪我や救命救急の医療が受けられなくなるなど、医療提供体制が崩壊するおそれがあると考えています。

医師や看護師などの医療従事者は、これまで長期にわたり、昼夜を問わず、見えない敵と闘い続けており、現下の感染拡大の状況の中でも、大切な命を救うため、懸命に患者さんと向き合っています。

医療提供体制や医療従事者を守るため、また、何よりも自分や自分の大切な人を守るため、皆様をお願いしたいことは、新しい取組ではなく、お一人お一人が、これまでの取組を今一度、見つめ直し、人と人との接触機会を減らすとともに、基本的な感染防止行動を徹底していただくことです。今年は、静かに過ごす特別なゴールデンウィークとしていただきますよう、よろしくお願いいたします。

I 札幌市内における不要不急の外出や往来を控えてください

- 札幌市内においては不要不急の外出を控えるとともに、札幌市との不要不急の往来を控えるよう、お願いします。具体的には、医療機関への通院、食料・生活必需品の買い出し、必要な職場への出勤、屋外での運動や散歩など、生活や健康の維持のために必要なものを除き、外出や往来を控えてください。
- 「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」の対象区域との不要不急の往来を控えるよう、お願いします。
- 体調が悪いときには、外出を控えるよう、お願いするとともに、重症化リスクの高い方と接する際には、リスク回避行動の徹底をお願いします。

II 基本的な感染防止行動を徹底してください

- 変異株は感染しやすいと言われていますが、感染防止行動は、何らこれまでと変わらないものであり、引き続き、マスクの着用に加え、手洗いや手指消毒の徹底など、この機会に、基本的な感染防止行動の更なる徹底をお願いします。

III 飲食の場面における感染リスクを低減する行動を実践してください

- 飲食の場面では、誰もがマスクを外しがちで、これによる飛沫飛散などから感染リスクが高くなるとされています。周囲の人に感染させないためにも、食事は「黙食」で、4人以内など少人数とし、長時間、深酒、大声を避け、特に、会話の際にはマスクを着用するという感染リスクを低減する行動の実践をお願いします。

令和3年(2021年)4月27日

北海道知事	鈴木直道
札幌市長	秋元克広
北海道医師会会長	長瀬清
札幌市医師会会長	松家治道
北海道病院協会理事長	中村博彦
北海道看護協会会長	上田順子